

うたごよみ

*短歌、俳句の投稿は

- 短歌 野辺 俊子さん (☎72-3300)
- 俳句 本田 幾男さん (☎72-5280)

「短歌」串間短歌会選

二男四女育てし母のさ庭辺に九十五つぶの梅がかをれり
 春探し盛土なしたる狭庭辺に迷路の工事すいたづら土竜
 語りつつ合わす歩調に夕映えの野の道近し別れがたきも
 かくなるを招かんとせしわが町か日々深刻なる原祭の事故
 穫り残る冬の菜一氣に茎立ちて開花促す弥生の風は

桂原…湖脇 桂子
 有明一區…長岡 アイ子
 有明二區…鈴木 のり子
 霧島…清水 しづ子
 北方…野辺 俊子

「俳句」あさひ俳句会選

花の下母の肩抱く車椅子
 月赤し五月の疫畜吊へり
 風神と雷神ひそむ牡丹寺
 降圧剤を手にして過ぎる花の下
 冴返る田之神サアの頬あかし

串間…島田 ミネ子
 上小路…木島 サイ子
 仲町…木島 幸子
 仲町…矢野 欽子
 上小路…本田 幾男

指定避難場所

避難場所の確認をしておきましょう

◎ 風水害時・一時避難場所

福島地区	笠祇小学校、桂原地区研修センター、穂佐ヶ原研修施設、霧島地区集落センター、福島中学校、福島高校、福島小学校、申間市役所、松尾集落センター、市総合体育館、市中央公民館、高松公民館、有明小学校、正国寺、金谷小学校、下弓田公民館、市総合運動公園
北方地区	秋山小学校、東上池集落センター、西上池公民館、北方中学校、北方農村研修センター、北方小学校
大東地区	徳山公民館、白坂公民館、井牟田公民館、上大矢取公民館、赤池活性化センター、広野集落センター、大平小学校、大平集落センター、中原宮農研修施設、三幸ヶ野集落センター、大重野集落センター、高則集落センター、三ヶ平公民館、大東中学校、揚原集落センター、一氏公民館、市ノ瀬公民館、虎溪寺、仲別府宮農研修施設、堂園集落センター、西ノ園集落センター、烏帽子野公民館、上園田集落センター、下園田研修施設、大東地区中央公民館、小山集落センター、石木田集落センター、大東小学校
本城地区	下千野集落センター、中千野集落センター、港公民館、崎田多目的集会施設、永田公民館、本城小学校、本城中学校、本城公民館、小田代公民館、道場公民館、中園公民館、口広公民館、居城田公民館、遍保ヶ野公民館
都井地区	大納小学校、都井小学校、都井基幹集落センター、都井中学校、黒井公民館、岬公民館
市木地区	築島集会所、海北公民館、藤公民館、石原公民館、内ノ畑集落センター、市木小学校、市木中学校、市木支所、石波公民館、漁民研修センター、郡司部公民館

◎ 地震災害時・広域避難場所

笠祇小学校、秋山小学校、北方中学校、福島中学校、福島高校、福島小学校、北方小学校、市総合運動公園、市総合体育館、市中央公民館、有明小学校、望洋の郷、金谷小学校、本城小学校、本城中学校、赤池活性化センター、大平小学校、大東小学校、大東中学校、市木小学校、市木中学校、市木多目的広場、大納小学校、都井中学校、都井小学校、総合保健福祉センター

■宮崎県の過去の地震

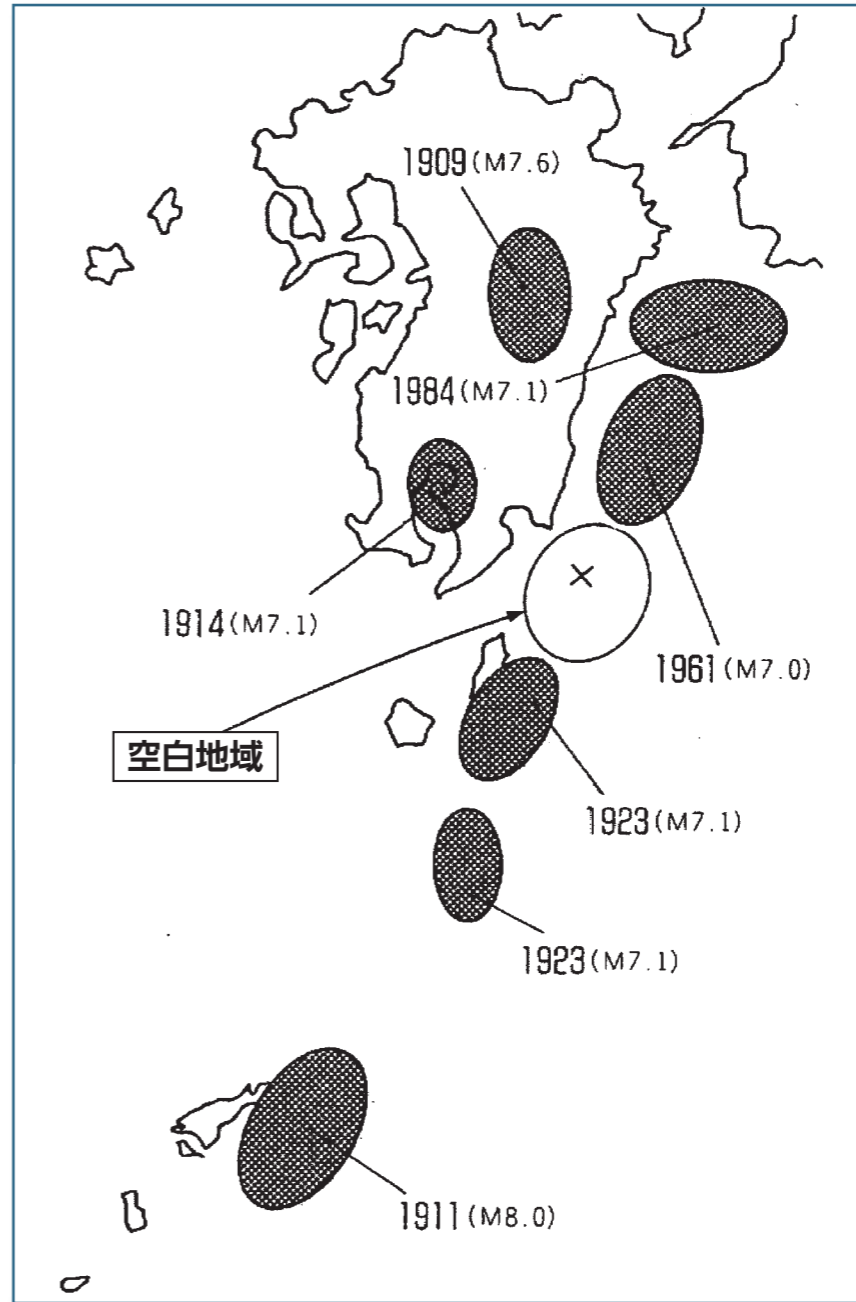
◎えびの地震

昭和43年2月21日に発生した内陸直下型地震です。

この地震により、えびの市では、328カ所で約75分の山腹崩壊が発生し、死者3名、負傷者44人、家屋破損6642戸の被害がありました。

寛文二年9月20日(1662年10月31日)に発生した地震です。日向灘を震央とする、M7.6の地震で佐土原、延岡、高鍋、飢肥の諸城下町で山崩れ、沿岸地域で津波が生じるなどして死者200人、家屋全壊3800戸の大きな被害が出ています。この地震では、今回の東北地方太平洋沖地震と同様の地盤沈下が発生して、現在の宮崎市加江田・本郷地区の一部沿岸、

周囲7里35町(約32km)が海に没しています。またこの地震では、志布志湾でも2〜3mの津波が発生したと推定されています。図1は1900年代以降に日向灘などで発生したマグニチュード7.0以上の地震の発生域です。一カ所、都井岬沖が空白域となつていますが、これは東南南海沖地震などと同じく、エネルギーが蓄積されている可能性があります。



【図1】過去の地震の発生域

■地震が発生したら

- ① テーブルなどに隠れる、家具から離れるなど身の安全を確保する。
- ② 慌てて外に飛び出さない、扉や窓を開けて脱出口を確保する。
- ③ すばやく火の始末をする。揺れている時には火傷のおそれがあるのでタイミングを間違わない(火が出たらすぐに消火)。

■防災準備

被害が大きくなると、行政からの支援がすぐには得られません。防災準備をしておきましょう。日ごろからの備えが自分自身や家族を守ります。

◎非常持ち出し袋

最低3日分の非常食、飲料水、懐中電灯、ローソク、ライター、ラジオ、救急医療品、防寒シート、身分証、現金など。

◎避難・連絡方法

高台や避難所、経路の確認・家族が離ればなれになったときの集合場所の確認。

◎家の中の安全対策

家具の転倒防止を行うとともに通路や出入り口に障害物を置かない。

◎防災に関する問い合わせ先 総務課危機管理係 ☎内線316